

各 位

会 社 名 JALCO ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田辺 順一
 (JASDAQ・コード6625)
 問合せ先
 役 職・氏 名 取締役管理本部長 大浦 隆文
 電 話 050-5536-9824

中古遊技機販売取引への取り組みについて

当社は、本日開催の取締役会におきまして、今後の中古遊技機販売取引への取り組みについて、現状の人員体制下においては中止することを決定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

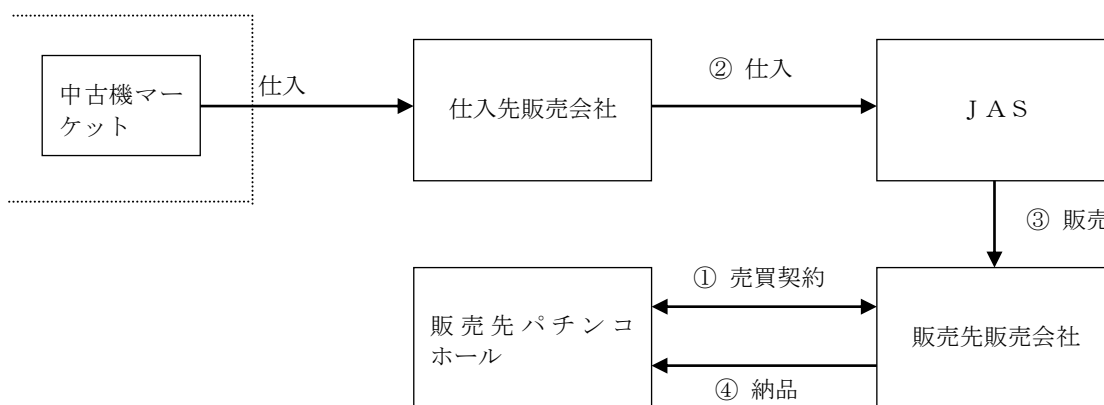
1. 中古遊技機販売取引への取り組みについて

当社子会社である株式会社ジャルコアミュージアムサービス（以下、「JAS」と記載します。）が行っていた中古遊技機販売取引は、

- ①販売先販売会社と販売先パチンコホール間での中古遊技機売買契約を締結する
- ②上記①を受けて、JAS が仕入先販売会社に対して当該中古遊技機を発注し、仕入代金を支払う
- ③JAS が販売先販売会社に当該中古遊技機を販売する
- ④販売先販売会社が販売先パチンコホールに納品し、代金回収後、上記③にかかる売却代金を JAS に支払う

という流れで行われており、当社は、販売先販売会社とともに、継続的な中古遊技機の共同仕入、共同販売事業を行っているという認識でありました。

上記取引の概要図は、以下のとおりであります。



しかしながら、当社は、当該取引における唯一の販売先販売会社による架空取引等の不正行為（仕入先販売会社も共謀しておりました。）の判明を端緒として、過年度決算の訂正を行いました。これは、

- ・中古遊技機仕入時の検収（首都圏の倉庫への納品時を除く）、及び販売先パチンコホールへの納品を販売先販売会社に一任していた
- ・販売先パチンコホールとの中古遊技機売買契約は販売先販売会社が締結しており、販売先パチンコホールからは、JAS の存在が見えない取引スキームになっていたため、販売先販売会社との関係性の維持を優先し、販売先パチンコホールへの納品確認を行っていなかった

など、当該取引における管理体制上の大きな問題が存在していたことにより、当該不正行為を看過してしまったものと認識しております。

一方で、当社は、当該不正行為を認識した後でも、中古遊技機の販売市場が推定年間 6,000 億円～6,500 億円という大きな規模で推移していることから、中古遊技機販売取引が、依然としてパチンコホールの強いニーズがある魅力的な事業であると考えておりましたので、平成 26 年 9 月 12 日発表「第三者委員会の調査報告に基づく再発防止策について」にてお知らせのとおり、

- ・上場会社としてのガバナンスに耐えうる販売会社に対し 50%超の資本参加を行うこと
- ・当社グループに加えた上で、当社の役職員を当該販売会社に役職員として派遣して監視機能を働かせ、ガバナンス上及び財務上のリスクをヘッジすることを前提とすること
- ・全取引において当該販売会社の役職員が、仕入時の検収、及び販売先パチンコホールへの納品に立ち会うこと

という条件付きながら、中古遊技機販売取引への取り組みを継続する意向でありました。

その後、中古遊技機販売取引への取り組みを継続するにあたって、当社は、改めて、当該取引の実務上の問題点を検証していきましたが、仮に販売会社との協業が実現したとしても、

- ・中古遊技機の仕入先パチンコホール、及び販売先パチンコホールは全国に点在しており、当該協業販売会社を当社グループに加えたとしても、全取引において仕入時の検品、及び納品に立ち会うことは極めて難しい
- ・仕入時の検品、及び納品については、各取引で期日、時間帯が重複することも想定され、適正人員の把握、及びその確保が極めて難しく、人員の確保ができたとしても経済合理性に合わない事業となる懸念も大きい

との結論に至りました。

このため、当社は、本日開催の取締役会におきまして、過去に JAS が行っていた販売会社と販売先パチンコホール間での中古遊技機売買契約締結を起点とする、継続的な販売会社との中古遊技機の共同仕入、共同販売事業について、現状の人員体制下においては、取り組みを中止することを決定いたしました。

なお、現時点で取引実績、あるいは具体的な予定はないものの、JAS が、遊技機（新台、中古を問いません。）の仕入を直接行い、パチンコホール、販売会社などに対して直接販売する取引につきましては、全取引において当社グループの役職員が、仕入時の検収、及び販売先への納品の立ち会いを徹底することを前提として、取り組む方針であります。

2. 業績への影響について

本件による当社連結業績への影響はありません。

以 上